

三菱電機 株式会社

● 東京都千代田区

ヒートポンプ技術を活用、高効率製品を開発し続けるトップメーカー

【贈呈理由】 低炭素社会実現に向けた高効率ヒートポンプ機器の開発と拡販を推進



コンパクトキューブICE

三菱電機株式会社は環境ステートメント「eco changes (エコチェンジ)」を制定し、「家庭から宇宙にいたるまで、幅広い事業を通じて低炭素社会および循環型社会に向けたチャレンジ」という環境経営を打ち出している。その経営姿勢の下、同

社は低炭素社会実現に向けて環境負荷低減を目指した製品開発およびソリューション技術で、家庭用から業務用まで、ヒートポンプ技術を活用した幅広い商品ラインナップを提供している。

2009年、高効率空冷式ヒートポンプ氷蓄熱ユニット「コンパクトキューブICE」を開発し、平成22年度第12回電力負荷平準化機器・システム表彰において「経済産業省資源エネルギー庁長官賞」を受賞した。新たにシステムコントローラを開発することにより、氷蓄熱ユニットのみのシステムだけでなく、

非蓄熱熱源機と組み合わせたシステムを容易に構築できるようにした製品だ。また、従来機に比べて低価格化を図るとともに、製氷時のエネルギー消費効率(COP=成績係数)を51%向上した業界トップクラスの高効率化(冷房追い掛け運転時34%、暖房運転時8%)を実現した。

2010年には省エネルギー性・経済性の向上と小型軽量化を実現した「水冷コンパクトキューブ」を開発。熱源更新にあたり、搬入や設置に制約のある業務用ビルにおけるリニューアルに対応でき、さらに同製品は、国内最高のIPLV^{*}(期間成績係数、ARI基準)8.4(従来機比70%向上)を達成した。

今後も三菱電機は市場ニーズに沿い、また低炭素社会の実現に貢献する機器の開発をすすめていく。

※13人乗りエレベータ搬入可能な機種の場合